

ぎがら1だより



新型コロナウイルス感染症対策を講じた6月定例会

6月定例会において、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、「3密」を避けるための取り組みを行いました。

【主な取り組み】

- 一般質問については、質問及び答弁で30分以内、不急の質問はしない
- 発言時もマスクを着用
- 間隔を空けた座席配置
- 換気のため、本会議場等の出入口を開放
- 傍聴については、自粛を要請
- 傍聴者へはマスクの着用等のお願い

6月定例会市議会

10P	8P	6~7P	2~5P
各常任委員会の経過	審議案件と結果	議案に対する質疑	市政に対する一般質問



そこが…
聞きたい

一般質問

市政に 対する

一般質問は、提出議案以外で市政全般にわたる事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に問うものです。今期定例会では、6月10日に7人の議員によって行われました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

避難所における新型コロナウイルス等の感染症予防対策について

齊藤 隆 議員

・質問 大災害時の避難所生活は、密閉空間・密集場所・密接場面の「3密」状態にある。避難所生活における感染症の感染防止対策を速やかに実行することが求められている。そこで、次の点を伺う。

のような項目を設定したいと考えている。まずは、避難所等における感染評価用紙の活用である。いわゆる避難者健康管理チェックシートで、定期的に避難者自身が体調を確認でき、その状況や症状により、今後の感染症対策をとることができると、感染症対策に有効である。次に、避難

① 「避難所における感染症感染防止対策運営計画」の策定について

のレイアウトである。感染拡大防止のため、居室やフロア、トイレなどを分けて適切に対応することなども加えていきたいと考えている。また、避難所における備蓄備品は、感染予防対策のため、サージカルマスクなどを購入し、品目や数量などのリスト化も進めていきたいと考えている。

② 運営計画の概要版の市民への配布について

本マニュアル策定後は、図上による避難所開設運営訓練を実施して、本マニュアルを検証し、それぞれの避難所ごとに改善を加えていきたいと考えている。

・答弁 (総務部長)

② 周知については、広報はにゅう7月号に、防災に関する特集として、避難所での感染症対策や避難する際の避難者に持参していただきたい衛生用品などを掲載したいと考えている。

① 本市では、既存の避難所運営マニュアルを活かしつつ、まずは既存マニュアルを補完するものとして、避難所における感染症感染防止対策マニュアルを現在策定中である。

新たなマニュアルには、次



所のレイアウトである。感染拡大防止のため、居室やフロア、トイレなどを分けて適切に対応することなども加えていきたいと考えている。また、避難所における備蓄備品は、感染予防対策のため、サージカルマスクなどを購入し、品目や数量などのリスト化も進めていきたいと考えている。本マニュアル策定後は、図上による避難所開設運営訓練を実施して、本マニュアルを検証し、それぞれの避難所ごとに改善を加えていきたいと考えている。

議会の詳細は
市議会ホームページ
をどうぞ

「羽生市ぎかいだより」は、毎年4回開催される定例会ごとに発行しています。詳細にわたって内容をお知りになりたい方は、羽生市議会ホームページをご覧ください。

羽生市議会ホームページでは、市議会の概要をはじめ、定例会や臨時会の本会議で行われた一般質問や議案質疑の内容、政務活動費の収支報告一覧などを公開しております。また、議会のインターネット中継もご覧いただけますので、是非ご利用ください。

議会インターネット
中継をご利用ください。

<http://smart.discussvision.net/smart/hanyu/>

こちらのQRコードからもアクセスできます。



学校休校中の対応と再開後の学業の取り組みについて

野中 一城 議員

- ・質問 市内小中学校が新型コロナウイルス感染症防止対策のため臨時休校となった。そこで、次の点を伺う。
 - ①休校中における児童生徒の学習について
 - ②休校中の家庭内での過ごし方に対する指導について
 - ③今後の授業計画について
- ・答弁 (学校教育部長)
 - ④今後の学校行事について
 - ⑤今後の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の取り組みについて

題や家庭学習の充実に役立てるサイトを紹介し、継続的に学習に取り組めるように指導した。また、臨時登校日や家庭訪問の機会などを設け、学習の取り組みについて確認を行なった。

②休業中は不要不急の外出をしないように指導するとともに、一日の予定や出来事を表にまとめさせることにより、規則正しい生活を過ごせるように支援した。

③臨時休業で生じた未指導分は、夏季休業日の短縮や行事

を精査し、年間指導計画の見直しを行なっている。まずは、年間指導計画の中の余剰時数で対応し、時間割編成の工夫や学校行事の削減等で対応している。

④新型コロナウイルス感染症

拡大防止の措置を図りながら、開催する時期、場所や時間、開催方法等、各学校で吟味、精選していきたいと考えている。

⑤県教育委員会から示されている「学校再開に向けたガイドライン」等を参考に、各校の実態に応じて対策を講じていきたいと考えている。今後も安全面を最優先に考えつつ、児童生徒の心のケアに十分配慮し、拡大防止対策に積極的に取り組んでいきたいと考えている。

子どものゲーム、インターネットやスマートフォンの依存症対策について

増田 敏雄 議員

- ・質問 依存症対策についての見解を伺う。
 - ・答弁 (学校教育部長)

教育委員会では、学校や家庭、地域を対象とした青少年健全育成地域フォーラムにおいて、この2年間スマホやSNSを題材とした講演を実施し、いち早く対策を講じている。
- また、児童生徒については、各小中学校が埼玉県のネットアドバイザーによる「子供安全見守り講座」等を実施し、情報機器の正しい使い方や情報モラルについて学ぶ機会を設けている。各教科や総合的な学習の時間等では、パソコンやタブレット端末を効果的

に活用し、情報活用能力の向上も図ってきた。特に、技術科の新学習指導要領では、中学校1年生において、情報モラルの必要性に係る授業の中で、使い方次第でネット依存

等の問題が発生する危険性があることを扱っている。

家庭の果たす役割は大きく、保護者会や学校保健委員会のテーマとして、ネットやゲームの負の側面についても取り上げることや、内閣府や文部科学省作成の情報機器活用のリーフレットを家庭に配布するなど、様々な機会を捉え、保護者も含めた周知を継続して図っていきたいと考えている。また、3か月の臨時休業に伴い、情報機器へのさらなる依存が懸念されるの

で、「児童生徒におけるスマートフォン等の利用状況等に関する調査」を実施し、把握・分析を各学校で行なっていくたいと考えている。

今後も、依存の未然防止や問題の解消のために具体的な対策を講じ、保護者への啓発を行うとともに、校内研修等を実施することで教職員の資質向上をも図っていききたいと考えている。



その他の質問

・学力アップテストについて

小中学校再開後の

学習等について

齊藤 万紀子 議員

- ・質問 小中学生の保護者を対象に実施した、休校中の過ごし方についてのアンケート(回答263名)の結果、学校再開にあたり、子どもたちに学習や心理面での不安があることが分かった。そこで、次の点を伺う。
- ①子どもたちのケアについて
- ②学校応援サポーター等の人材ネットワークの形成について
- ③オンライン学習の活用方法について
- ・答弁(学校教育部長)
- ①県教育委員会が作成したリーフレット等を活用し、児童生徒の気持ちに寄り添った支援をしていきたい。また、

児童生徒や保護者の不安や悩みを聞く場を設定するなど、家庭との連携も図っていききたいと考えている。

受験を控えた生徒については、7時間授業による授業時間の確保などを実施している。また、二者面談や三者面談の実施など、情報提供の機会を多く設けるなど、支援体制の充実を図っていききたいと考えている。

②地域の感染状況や感染拡大防止に配慮し、学習支援や学校環境整備、登下校の安全確

保など、地域の方々に学校の教育活動に参画していただき、教職員の多忙化の解消、負担軽減などに努めていききたいと考えている。



③休校中は、各学校の実態に合わせてチューブによるワンポイントレッスン等の配信やZoom等を活用したオンラインホームルームなどを実践している学校があった。

今後の取り組みとして、GIGAスクール構想の実現に向けた準備を進めている。また、動画配信やオンライン会議システムを用いた取り組みの工夫や改善を行い、各校において成果や課題を共有していきたいと考えている。

新型コロナウイルスに関する 対応や支援について

柳沢 暁 議員

- ・質問 次の点を伺う。
- ①水道料金の一定期間無料化の見解について
- ②国は新型コロナウイルスにより収入が減った世帯に国保税の減免を推進している。減免制度の周知及び活用の見解について
- ③売上が前年同月比30%以上50%未満減少している市内の
- 事業者は10万円を支給する自治体があるが、羽生市での支援実施の見解について
- ④新型コロナウイルスにより密集を防ぐために今まで以上に避難所の確保が必要である。民間との協定締結の現状と今後について
- ・答弁(①まちづくり部長、

②市民福祉部長、③経済環境部長、④総務部長)

①羽生市では、水道基本料の免除等は考えていない。

②国の財政支援の基準に従い、主たる生計維持者の事業収入等が一定程度減少するな



どした世帯に対し、国民健康保険税の減免を実施すべく、取扱要綱を制定し、6月1日から申請受付を開始した。周知については、市ホームページ、広報はにゅう6月号に詳細内容や申請方法を掲載した。

③現段階では、売上減少が50%未満の事業者に対し給付金を支給する等の事業を実施する予定はない。消費喚起策による消費拡大や事業活動の活性化に寄与できるよう、事業者の支援に取り組む考えで

ある。

④ルートインジャパン(株)と大災害時における宿泊施設等の確保に関する協定を締結している。また、イオンモール羽生とも災害時における支援協力に関する協定を締結しており、一時避難所として6000台以上の駐車場が利用可能となっている。

今後は、市内6つのホテル等で構成される北埼玉ホテル旅館業組合と協定締結に向けての協議を進めていきたいと考えている。

小中学校の

感染症対策について

中島直樹議員

・質問 市内小中学校では6月1日から通常授業が始まった。次の点を伺う。

- ①どのような経緯を経て、休校、再開を決定したのか
- ②6月1日から通常授業が行われる自治体は見られない。小中新生一年生への影響をどのように捉えているのか

③夏休み以降の学校スケジュールはどのようなになっているのか

- ④一日に多くの授業を行うよりも、分散した方が、児童生徒への負担は減るものと考ええる。土曜授業についてどのように考えているのか
- ・答弁(学校教育部長)

①国や県の要請を受け、学校再開に向けたガイドライン等を参考にし、さまざまな機関と協議し、方向性を定めたくて教育委員会に報告し、決定した。決定事項について羽生市新型コロナウイルス感染症対策本部の承認を経て各小・中学校に通知している。

②5月25日から29日までの期間、各学校で3回程度、分散登校を実施した。学校再開後も時間割を工夫したり、給食後に下校したりするなど、徐々に学校の環境と学習、生活リズムになじめるよう配慮している。

③夏季休業を短縮して臨時休業の振替措置としている。これにより確保される授業時数



④学校の環境や生活リズムに慣れていないうえ、週6日の登校による心身への大きな負担が懸念されるため、現時点では第一学期の土曜授業の実施は考えていない。

その他の質問

・感染症対策課を設置すべき
・マスク回収ボックスを設置すべき

新型コロナウイルスによる イベント等の見直しについて

保泉和正議員

・質問 次の点を伺う。

- ①新型コロナウイルスにより、羽生市で中止となったイベント、及び今後中止するイベントについて
- ②イベント中止により、余った予算の行方、及び各種団体の補助金・交付金の返還や減額の措置について

③休館した施設の職員の勤務状況、及び職員の在宅勤務時の手薄になった部署への職員の配置について

- ・答弁(総務部長)
- ①5月末までに中止となったイベントは、藍のまち羽生さわやかマラソン、キャッセゴールデンウィークなどもま



つりなど65事業であった。また、今後中止が決まっているイベントは、羽生てんのうさま夏祭りや羽生市民福祉健康まつりである。

②中止されたイベント等の予算は、予算未執行として、今後想定される収入不足への対応、財政調整基金への積立て、感染症対策経費に充てる考えである。

また、イベント等の事業費分としての各種団体への補助金・交付金については、羽生市補助金等の交付手続き等に関する規則に従い、既に交付されたものについては、未執行額の返還とし、今後交付予定のものについては、不交付とする。

③イベントの中止や休館した施設であっても、イベントの中止や休館に関する連絡や施設予約の調整などの業務を行っていた。

また、4月20日から5月18日までの期間は、登庁勤務と在宅勤務を交互に行う2班体制をとっていたことから、職員の配置替えは行わず、それぞれの所管で業務を行っていた。今後も業務の緊急性や重要性等を総合的に鑑みて、職員の相互応援、適正配置に努めていきたいと考えている。

議案に対する質疑

「議案に対する質疑」は、議会に上程された議案について、質疑を行うことであり、賛否の意思決定をするため議案の提出者に対し説明や考えを求めるものです。

今期定例会では、次の議員によって行われました。

○議案第37号 令和2年度

羽生市一般会計補正予算

(第3号)

齊藤 万紀子 議員

GIGAスクール構想整備事業は、全小中学校に高速大容量の通信ネットワークが利用できる環境を整備し、全児童生徒分の学習用タブレット端末を整備するもの。

・質疑 タブレットの導入及び夏季休業短縮による校内LAN整備工事等のスケジュール、導入後のオンライン授業等を想定した活用方法について

・答弁 (学校教育部長)

タブレットについては、現在、仕様を検討している。秋頃に整備を開始し、今年度中に一人一台、児童生徒全員分の整備を完了したいと考え



ている。

校内LAN整備工事については、夏休みから着手し、2学期以降は休日等を利用して工事を進め、今年度中に完了する見込みである。

導入後の活用方法については、先進的な自治体の例を参考に研究を進めているところである。

齊藤 隆 議員

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、地方公共団体が感染症対策を地域の実情に応じて、きめ細やかに必要な事業を実施できるよう、地方公共団体が作成した実施計画に基づく事業に対し国から交付されるもの。

・質疑 実施計画の概要と当該交付金の総額及び限度額について

・答弁 (企画財務部長)

次の3つの柱で実施計画を策定した。

- ① 感染症予防対策として、非接触型体温計などの整備に9事業、経費4000万円。
- ② 経済活性化対策として、プレミアム付商品券の発行等2事業、経費8000万円。
- ③ 住民生活の支援として、ひとり親家庭の支援等3事業、経費5000万円。

合計1億7000万円を対象経費として見込んでいます。羽生市の交付金の総額は、6月下旬に国が決定する。交付限度額は、1億6178万円である。

野中一城 議員

国の利根川堤防強化事業に伴い、川俣地区内の葛西親水公園の一部が用地買収の対象となったことから、新たに必要となる公園の整備を行うもの。

・質疑 移転先の選定及び今後の整備スケジュールについて

・答弁 (まちづくり部長)

地元の自治会と公園の移転先について意見交換を行なったところ、移転前と同様な規模を有し、利便性の高い場所であることが望まれた。候補地として、地域活動の拠点にできるとの考えから、公民館、小学校に隣接する場所が提案された。地域に必要とされる場所に移動することが好ましいことから、自治会の希望する土地へ移転することで国との協議が整った。

今後の整備スケジュールについては、今年度に境界査定・用地買収・登記・現地測量・実施設計を行い、来年度、工事を行い、完了を予定している。



峯崎貴生 議員

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策補助金は、市内医療機関及び福祉事業所等に対し新型コロナウイルス感染症拡大予防策として要した費用の一部を補助するもの。

・質疑 対象となる施設、費用項目、補助限度額について

・答弁 (市民福祉部長)

市内で開業する病院・診療所・歯科医院及び羽生市薬剤師会加入の調剤薬局等の医療機関、社会福祉施設や他の補助金の対象外となる幼稚園、児童養護施設等の備品及び消耗品の費用、消毒に係る経費が対象となる。上限額は、医療機関において発熱外来を設置している場合は50万円、それ以外は15万円、その他の対象施設は10万円である。

・質疑 今後の補助金交付までのスケジュールについて

・答弁 (市民福祉部長)

6月下旬から7月下旬を申請期間とし、申請内容を精査後、8月中旬に交付決定を行い速やかに交付する予定である。

中島直樹 議員

学校臨時休業期間における学校給食費相当額給付金は、就学援助費受給者に対し、小中学校臨時休業期間中における学校給食費相当額を支給するもの。

・質疑 具体的な内容について
・答弁 (学校教育部長) 学校の臨時休業に伴い、家庭における保護者の昼食費の負担が増えたことを考慮し、4・5月の2か月分の給食費相当額を支給するものである。対象人数及び支給額は、小学生が315人、一人当たり8200円、中学生181人、一人当たり9800円である。支給の時期は、7月中旬から下旬を予定している。

新型コロナウイルス感染症予防策として職員の分散勤務に対応するための費用について。

・質疑 具体的な内容について
・答弁 (総務部長) 通常の執務室以外でも総合行政システムの使用ができるように、物品等を購入するものである。

柳沢 暁 議員

ひとり親家庭等支援臨時給付金は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親家庭等を支援するため、児童扶養手当の受給資格者に、児童一人につき2万円を支給するもの。

・質疑 対象となる児童数及び支給の時期について
・答弁 (市民福祉部長) 対象は①②の2段階で考えており、①令和2年5月分の児童扶養手当受給者(令和2年5月31日において、生活保護受給者を除く)は、517人である。支給時期は、7月下旬頃を予定している。

②令和2年5月分の児童扶養手当が全部停止されている方(122人)で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が大きく減少した方である。この場合は、毎年8月に実施する児童扶養手当の現況届の提出時に、収入状況を確認し支給する予定のため、現在のところ児童数は確定できない。

「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」を提出

新型コロナウイルス感染症の感染拡大・長期化を踏まえ、羽生市議会は、4月30日に市長に対して要望書を提出しました。



【要望内容】

- ①市民へ迅速に情報を提供すること
- ②特に必要とされる場所にマスク・消毒液等を配布すること
- ③個人事業主、中小企業等及び経済的困窮者への支援策を講ずること
- ④園児や児童・生徒の安全確保と精神的ケア並びに学習機会の確保に努めること
- ⑤感染者等のプライバシー保護と精神的なケア並びに完治後の孤立防止策を検討すること



市議会から「議会費(行政視察経費等)削減」を要請

新型コロナウイルス感染症対策のため、議会費280万円を削減し、感染症対策の財源として活用しよう、6月3日に市長へ要請しました。6月定例会最終日に、議会費の削減を含む一般会計補正予算案が追加議案として上程され、原案のとおり可決されました。

令和2年第1回臨時会開催

新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急案件を審議するため、7月29日に第1回臨時会を開催しました。

市長から、令和2年度一般会計補正予算についての議案が提出され、提案説明に対する質疑の後、採決の結果、原案のとおり可決されました。補正予算の総額は、4億8074万1千円となり、内容は、国の令和2年度第2次補正予算に基づき、羽生市において「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業」、「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業」、「児童生徒の学びの保障対策」の3つを柱とした感染症対策等を実施するものです。

事業の主なもの、事業継続及び家賃支援等応援事業、出産祝臨時給付金事業、学校活動における感染症対策等支援、学童保育施設や保育所等への感染症対策支援、各小中学校への学習支援員の追加配置やスクールサポートスタッフの配置などです。

6月定例会 審議案件と結果

●議決結果の公表について

議会改革の一環として、「市民に明確な意思表示をする」という目的のもと、議員自らの考えを分かりやすく市民に示す手段のひとつとして、各議員の表決結果を掲載しています。

公成会…公成 拓政会…拓政 令和会…令和 公明党…公明 日本共産党…共産 無会派…無派

【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除】

Table with columns for 議案番号, 議案名, and voting members (公成, 拓政, 令和, 公明, 共産, 無派, etc.) and 審議結果.

市長提出議案

Main table listing 24 items with voting results for each member and a final 審議結果 column. Includes a vertical note: 議長は表決に加わりません。

令和2年第1回臨時市議会 審議案件と結果

公成会…公成 拓政会…拓政 令和会…令和 公明党…公明 日本共産党…共産 無会派…無派

【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除】

Table with columns for 議案番号, 議案名, and voting members (公成, 拓政, 令和, 公明, 共産, 無派, etc.) and 審議結果.

市長提出議案

Table with 1 item: 令和2年度羽生市一般会計補正予算(第5号) with voting results.

※島村勉議長は表決に加わりません。

9月定例会市議会の日程

9月定例会市議会は、左記のような日程で予定されています。

月日	曜日	時刻	内容
9月2日	水	午前9時30分	本会議初日(開会)
9月3日	木		議案調査等のため休会
9月8日	火		
9月9日	水	午前9時30分	本会議(議案に対する質疑)
9月10日	木	午前9時30分	本会議(市政に対する一般質問)
9月11日	金	午前9時30分	本会議(市政に対する一般質問)
9月12日	土		休日のため休会
9月13日	日		
9月14日	月	午前9時30分	本会議(市政に対する一般質問)
9月15日	火	午前9時30分	各常任委員会
9月16日	水	午前9時30分	各常任委員会
9月17日	木	午前9時30分	各常任委員会
9月18日	金	午前9時30分	各常任委員会
9月19日	土		事務整理等のため休会
9月27日	日		
9月28日	月	午前9時30分	本会議最終日(閉会)

※9月定例会市議会の日程は、8月31日(月)に開催予定の議会運営委員会で決まりますので、変更になる場合もあります。

◆傍聴について◆

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本会議及び委員会の傍聴は、当面の間、お控えいただくようお願いいたします。

なお、どうしても傍聴を希望する場合は、次の点にご留意ください。

- ・マスクの着用、咳エチケットの励行
- ・手洗い、手指の消毒の徹底
- ・他の傍聴者と2メートル程度の間隔を空けての着席
- ※本会議は、議会ホームページ内でライブ中継及び録画配信を行なっておりますのでご視聴ください。

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。議会事務局にお問い合わせください。

☎048(561)1121
(内線)513



ボートレース戸田

県内15市で構成する都市競艇組合の収益金の一部は、毎年構成各市に交付され、市民の皆様の暮らしに役立っています。

◆開催日◆

【8月】

日	月	火	水	木	金	土
					21	22
					サッポロビールカップ(戸田)	
23	24	25	26	27	28	29
サッポロビールカップ(戸田)						

【9月】

日	月	火	水	木	金	土
			2	3	4	5
			夕刊フジオレンジカップ(都市)			
6	7	8	9	10	11	12
夕刊フジオレンジカップ(都市)						
13	14	15	16	17	18	19
			BACHプラザ杯(戸田)			
20	21	22	23	24	25	26
BACHプラザ杯(戸田)					DMM.com杯(都市)	
27	28	29	30			
DMM.com杯(都市)						

※都市：埼玉県都市競艇組合主催 ※戸田：戸田競艇企業団主催

◎本場発売等についての詳細は、ボートレース戸田公式サイト等でご確認ください。



各常任委員会の経過

総務文教 委員会

委員会に付託された案件は、議案3件でした。

令和2年度羽生市一般会計補正予算第3号の審査では、企画費において、「ふるさと応援寄附金事業について、4つのテーマから指定することになっているが、新型コロナウイルス感染症対策に使うようにはできないか、伺う。」との質疑に対して、「市長が行う個性豊かなふるさとづくり事業のテーマの中で、新型コロナウイルス感染症対策事業を設定し、実施していくことは可能である。」との答弁がありました。

また、商工費において、「他市では、国の持続化給付金に



該当しない売上高減少が50%未満の事業者に10万円を支給する緊急性の高い支援事業を行なっている。羽生市でのプレミアム付商品券事業を採択するに至った経緯を伺う。」との質疑に対して、「売上高減少の事業者に対し、10万円を支給する案も検討されたが、人とお金の流れを作っていくことが有効であるなどの検討結果から、市としてはプレミアム付商品券事業を採択したものである。」との答弁がありました。

都市民生 委員会

委員会に付託された案件は、議案3件でした。

委員会では、これらの審査の結果、付託議案3件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第37号令和2年度羽生市一般会計補正予算第3号の審査では、民生費において「住居確保給付金が、当初の見込みを上回ることだが、給付状況について伺う。」との質疑に対して「令和2年5月末現在で、相談件数が33件、そのうち認定件数が11件である。認定件数は、昨年同時期と比較すると約2倍である。増加した要因は、新型コロナウイルス感染症の影響による失業等によるものと考えられる。また、認定不可の方に対しては、社会福祉協議会の貸付制度を紹介している。」との答弁がありました。

子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例では、「条例改正に至った経緯及び内容について伺う。」との質疑に対して「今までも県の事務要領に従い、同居している保護者を優先的に受給資格者として認定していたが、条例に明記するよう県の指導があり、改正するものである。内容については、子ども同居している保護者が離婚協議や



「ご意見などを
議会広報委員会まで
048(561)1121
(内線) 513

《議会広報委員会》

委員長	島村 勉
副委員長	中島 直樹
委員	斉藤 隆
委員	峯 貴生
委員	松本 敏夫

6月定例市議会傍聴者数

6月3日	2人
10日	9人
19日	0人
計	11人でした。

常任委員会傍聴者数

6月15日	0人
計	0人でした。